

# 带状疱疹の予防接種を受けるに当たっての説明書

和歌山市

※带状疱疹予防接種の費用の一部助成の対象者は、接種日において和歌山市に住民登録がある満65歳・

満70歳の方です。助成回数は1人につき1回です。

## 1 带状疱疹について

带状疱疹は、多くの人が子どものときに感染する水痘（みずぼうそう）のウイルスが原因で起こります。水痘が治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏していて、過労やストレスなどで免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化して、带状疱疹を発症します。

50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症すると言われています。発症すると、体の片側に水泡を伴う紅斑が帯状に広がります。症状は痛みを伴うことが多く、3～4週間ほど続きます。症状の多くは上半身にあらわれますが、顔や目、頭などにあらわれることもあります。

## 2 带状疱疹の合併症

神経が損傷されることで、皮膚の症状が治った後も、痛みが残ることがあり、3か月以上痛みが続くものを**带状疱疹後神経痛（PHN）**と呼びます。PHNには根本的な治療方法がなく、何か月、時には何年も強い痛みが残ってしまうことがあります。50歳以上では、带状疱疹を発症した人の約2割がPHNに移行すると言われています。頭部や顔面に発症した場合は、角膜炎等による視力低下や失明、顔面神経麻痺、難聴、めまいといった合併症がみられることがあります。

## 3 ワクチンの効果と副反応

予防接種法に基づかない任意接種ですので、ご本人の希望により接種を受けるものです。予防接種による効果や副反応等ご理解いただいたうえで接種の判断をしてください。接種に関することは、かかりつけ医にご相談ください。現在、以下の2種類のワクチンが接種できます。

名称	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」	乾燥組換え带状疱疹ワクチン 「シングリックス筋注用」
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種対象者	50歳以上の方（明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方及び免疫抑制をきたす治療を受けている方は接種できません。）	50歳以上の者または带状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
接種回数	1回	2回
発症予防効果	50～59歳で69.8% 60歳以上で51.3%（※1）	50歳以上で97.2% 70歳以上で89.8%
持続性	5年程度（※2）	10年以上（※3）
副反応	注射部位の発赤（44%）、そう痒感（27.4%）、熱感（18.5%）、腫脹（17.0%）、疼痛（14.7%）など 重大な副反応として、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病等（頻度不明）があらわれることがある。	注射部位の疼痛（79.1%）、発赤（37.4%）腫脹（24.2%）、筋肉痛（36.9%）など 重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー反応を含む過敏症状（頻度不明）があらわれることがある。
接種費用	医療機関の定めた金額から助成額の4,000円を引いた額が接種金額となります。	

「ビケン」に関する内容は2022年1月改定（第3版）「ビケン」添付文書参照

「シングリックス」に関する内容は2023年6月改定（第2版）「シングリックス筋注用」添付文書参照

※1 带状疱疹ワクチンファクトシート平成29年2月10日

※2 2023予防接種に関するQ&A集／一般社団法人 日本ワクチン産業協会

※3 第21回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会資料2参照

#### 4 予防接種による健康被害救済制度について

予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での入院治療等が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法及び和歌山市予防接種事故災害補償規則（身体障害及び死亡の場合のみ）に基づく救済の対象になります。ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものなのか、別の要因（予防接種の前後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因など）によるものかを審議し因果関係が認定された場合に限りです。

給付申請の必要が生じた場合は、診察した医師、和歌山市保健所にご相談ください。

#### 5 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。被接種者の健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、被接種者が以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- (1) 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある場合
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- (3) 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- (4) 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合又は免疫抑制をきたす治療を受けている場合（※乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種する方）
- (5) その他、医師が不適当な状態と判断した場合

#### 6 予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない方

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方
- (2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた方
- (3) 今までにけいれんを起こしたことがある方
- (4) 過去に免疫不全と診断されたことがある方、及び近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- (5) このワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある方
- (6) 血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を施行している方（※乾燥組換え帯状疱疹ワクチンを接種する方）

#### 7 他のワクチンとの接種間隔

生ワクチン（注射剤）の接種を受けた方は、通常27日以上の間隔において乾燥弱毒生水痘ワクチンを接種してください。また、医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。（乾燥組換え帯状疱疹ワクチンを接種される場合は、特に接種間隔等の制限はありません。）

#### 8 予防接種を受けた後の注意

- (1) 接種後30分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取るようにしておきましょう。
- (2) 乾燥組換え帯状疱疹ワクチンを接種された方は、接種直後又は接種後に注射による心因性反応を含む血管迷走神経反射として失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるため、接種後30分程度は病院で背もたれのある椅子に座って、体調の変化がないことを確認してから帰宅しましょう。
- (3) 接種当日は激しい運動は避け、接種部位を清潔に保ってください。接種当日の入浴は差し支えありません。
- (4) 接種後に接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常な症状があらわれた場合には、すぐに医師の診察を受けてください。

【お問い合わせ先】和歌山市保健所保健対策課 TEL：073-488-5118

#### 帯状疱疹予防接種済証（和歌山市帯状疱疹予防接種費用助成事業）

氏名		生年月日	年	月	日
住所	和歌山市				
使用ワクチン製造元	ロット番号	接種場所・接種医師名			
<input type="checkbox"/> GSK					
<input type="checkbox"/> 阪大微		接種年月日	年	月	日

・接種済証は予防接種を受けた証明になりますので、お手元に保管してください。